

3万人が来場『ジャカルタ日本祭り』 ～ 知られざる親日大国インドネシア ～

シンガポール事務所

9月23日(日)から30日(日)までインドネシアのジャカルタで、第4回ジャカルタ日本祭りが開催されました。このジャカルタ日本祭りの概要と親日大国インドネシアについて報告します。

20年の歴史があるジャカルタ日本祭り

ジャカルタ日本祭りは、20年ほど前にジャカルタに駐在する日本人の間で子供たちに日本の盆踊りを知って欲しいとの思いから始められたそうです。回を重ねるごとに、日本人ばかりではなくインドネシア人も参加するようになり、規模を拡大していきました。一時政情不安による中断があったものの、その後も続けられました。規模の拡大に伴い、運営主体は日本人の有志からジャカルタ・ジャパン・クラブ(日本人会)、更にジャカルタ日本祭り実行委員会へと移っていきました。この第4回という数字は、実行委員会が設立されてから開催した回数とのことです。

今年は9月23日から1週間にわたり、ジャカルタ市内の各地で日本の伝統文化を紹介するイベントや日本とインドネシアの交流を促進するイベントが開催されました。30日にはジャカルタの中央にある独立記念塔(モナス)広場でクロージング・イベントが開催され、フィナーレを迎えました。このクロージング・イベントには1日で3万人以上が来場し、日本とインドネシアの深い友好関係を示す契機になりました。

古い伝統文化と新しいポップカルチャーの融合

天候にも恵まれたクロージング・イベントは、まさにジャカルタ日本祭りのフィナーレを飾るのに相応しいものでした。独立記念塔南側の広場に、たこ焼き、かき氷などの日本食ブースや日系企業による展示ブースが設けられました。更に太鼓の演奏、山車・神輿の練り歩き、浴衣ファッションショー等、日本の伝統文化・芸能が間断なく披露されました。

ジャカルタ日本祭りのロゴ

ジャカルタの象徴であるモナスの炎のモチーフを日本とインドネシアの国旗に使用されている白色と赤色で現すことで、両国の友好の炎が将来にわたり燃えさかり続けることを意味します。



来場者の中には、インドネシア人で浴衣を着ている人もいました。また、まるでアニメの中から飛び出してきたようなコスチュームを着た人もいて、即席の撮影会が行われていました。

午後7時頃、ジャカルタ軽音部による「まつり」の演奏とともに神輿が特設ステージ前に到着したとき、盛り上がりは頂点に達しました。続けて、JKT48 の歌とパフォーマンスが披露されました。古い伝統文化と新しいポップカルチャーの融合といった感がありました。午後9時には「ジャカルタ音頭」に合わせて盆踊りが始まり、祭りはフィナーレを迎えました。



浴衣の来場者



コスプレ来場者



幻想的な盆踊り会場

日本とインドネシアの結びつき

インドネシアの人口は約2億4千万人と世界第4位で、東南アジア諸国連合（アセアン）10 か国の中では最も人口の多い国です。そのインドネシアにおける日本語の学習者の数は中国、韓国に続き世界第3位（2009年現在）となっています。近年、顕著に増加しています。世界第1位となることも夢ではなさそうです。

日本語学習者の多い国・地域

[単位：人、%]

	国・地域名	2009年	2006年	増減率
1	大韓民国	964,014	910,957	5.8
2	中華人民共和国	827,171	684,366	20.9
3	インドネシア	716,353	272,719	162.7
4	オーストラリア	275,710	366,165	▲24.7
5	〈台湾〉	247,641	191,367	29.4

出典：国際交流基金「日本語教育機関調査・2009年—海外の日本語教育の現状」

9月に日本政府観光局（JNTO）が発表した2012年1～8月の訪日外客数（推計値）によれば、全世界から日本への総数は約566万人と東日本大震災前の2010年同時期と比較すると3.7%減少しているにもかかわらず、インドネシアは63,800人と2010年

同時期比で 47.7%の増加と最も高い伸び率を示しています。インドネシアは、2010 年が過去最高の訪日外客数であったことから、このペースが続けば 2012 年は過去最高を記録すると推測できます。

古くはオランダからの独立に多くの日本人が協力したことや、最近ではドラえもん、クレヨンしんちゃんなどのアニメの影響により、日本に親しみを感じていることが主な理由のようです。まさに世界最大の親日国と言っても過言ではありません。

日本への熱い思いを実感

今回、初めて私はインドネシアに訪問し、JNTO のブースで訪日旅行の PR をしました。英語で話しかけると、即座にきれいな日本語が返ってくるケースが多く驚かされました。また、自らの日本語に更に磨きをかけるため、日本を旅行したいという人もいました。

インドネシアは約 2 億 4 千万人の人口を抱え、近年は実質経済成長率が 6%を超えるなど急成長を遂げています。このままの成長が続けば、2030 年には GDP で日本と肩を並べるという調査結果もあるそうです。

インドネシア人は日本に強いあこがれを持ち、日本のことをよく勉強しているのに対し、日本人はインドネシアのことをあまり知りません。いわば片思いの状況です。今後、日本人もインドネシアのことをよく知り、更に友好を深めていく必要があると感じました。

(長濱調査役 埼玉県派遣)

